



2017年10月12日
株式会社リクルートライフスタイル
ホットペッパーグルメ外食総研

2017年「ハロウィーン」の参加意向や飲食予定を調査

**「ハロウィーン」行事の参加予定者は前年参加実績を上回る22.5%
参加予定者のうち42.0%が仮装予定
若年層では「ハロウィーン」への賛否が二極化**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、「ハロウィーン」時期の飲食行動や仮装の普及などに関する意識についてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

<要約>

**POINT① 今年の「ハロウィーン」行事の参加予定者は22.5%
前年実績19.3%を上回る** . . . P 3-4

- 2017年の「ハロウィーン」行事（飲食、パーティー、イベント）に参加予定だと回答した人は22.5%。参加予定者のうち、20代女性の参加予定率が最多で32.1%だった。
- 前年、「ハロウィーン」行事に参加したと回答した人は19.3%。2017年の参加予定は前年の参加実績を上回っている。
- 参加予定行事の1位は「飲酒主体の店での飲食、パーティー、イベント」（11.1%）。

POINT② 「ハロウィーン」行事に仮装して参加したい人は42.0% . . . P 5

- 「仮装派」は参加者予定者中42.0%。
- 仮装予定、30代女性と20・30代男性で過半数。20代女性を上回る。

POINT③ 「ハロウィーン」肯定派が微増、若年層は賛否二極化も . . . P 6-8

- 「ハロウィーン」習慣の普及には67.8%が賛成（前年67.4%）、「仮装」には60.5%が賛成（前年60.4%）、いずれも前年比微増。若者ほど肯定的。
- 賛成理由のトップ3は「本来の意味と違って日本風に楽しめばよい」（45.0%）、「たまにははめを外す機会としてよい」（39.3%）、「経済効果がある」（35.5%）。否定理由1位は「何かと理由をつけて騒ぐのはよくない」（52.3%）。若年層では賛否が二極化も。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

◎調査名	外食市場調査(2017年8月分)
◎調査方法	インターネットによる調査 首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、ハロウィーンに関連した飲食・パーティー・イベントの参加状況や参加意向、仮装経験、ハロウィーンに対する考え方などを聴取。
◎調査対象	首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

①調査目的	本調査の協力者を募集するために実施
②調査時期	2017年7月21日(金)~2017年8月1日(火)
③調査対象	首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
④調査内容	本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
⑤配信数	347,949 件
⑥回収数	39,744 件
⑦本調査対象者数	17,567 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくするために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル(について、平成27年国勢調査人口(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

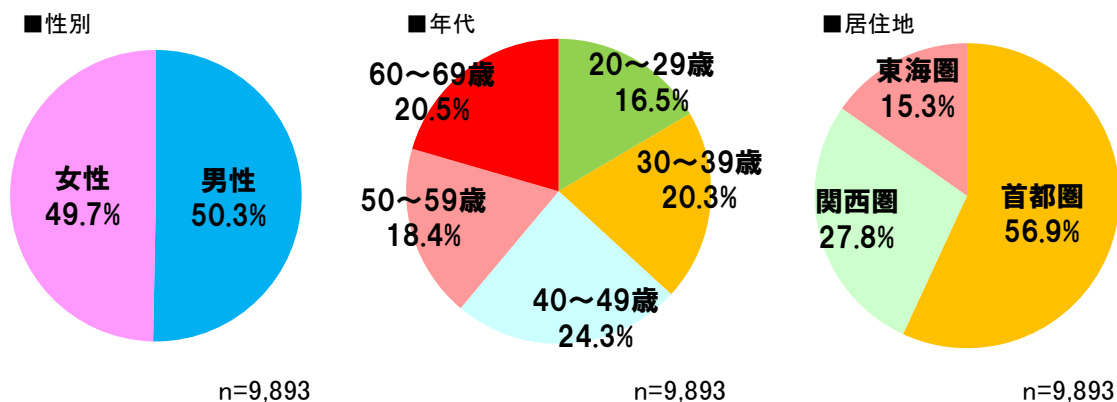
■本調査

①調査方法	・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
②調査期間	2017年9月1日(金)~2017年9月8日(金)
③配信数	13,164 件
④回収数	9,965 件 (回収率 75.7 %)
⑤有効回答数	9,893 件 (首都圏 4,988 件、関西圏 2,655 件、東海圏 2,250 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成27年国勢調査人口(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 9,893 件(首都圏: 5,632 件、関西圏: 2,746 件、東海圏: 1,515 件)

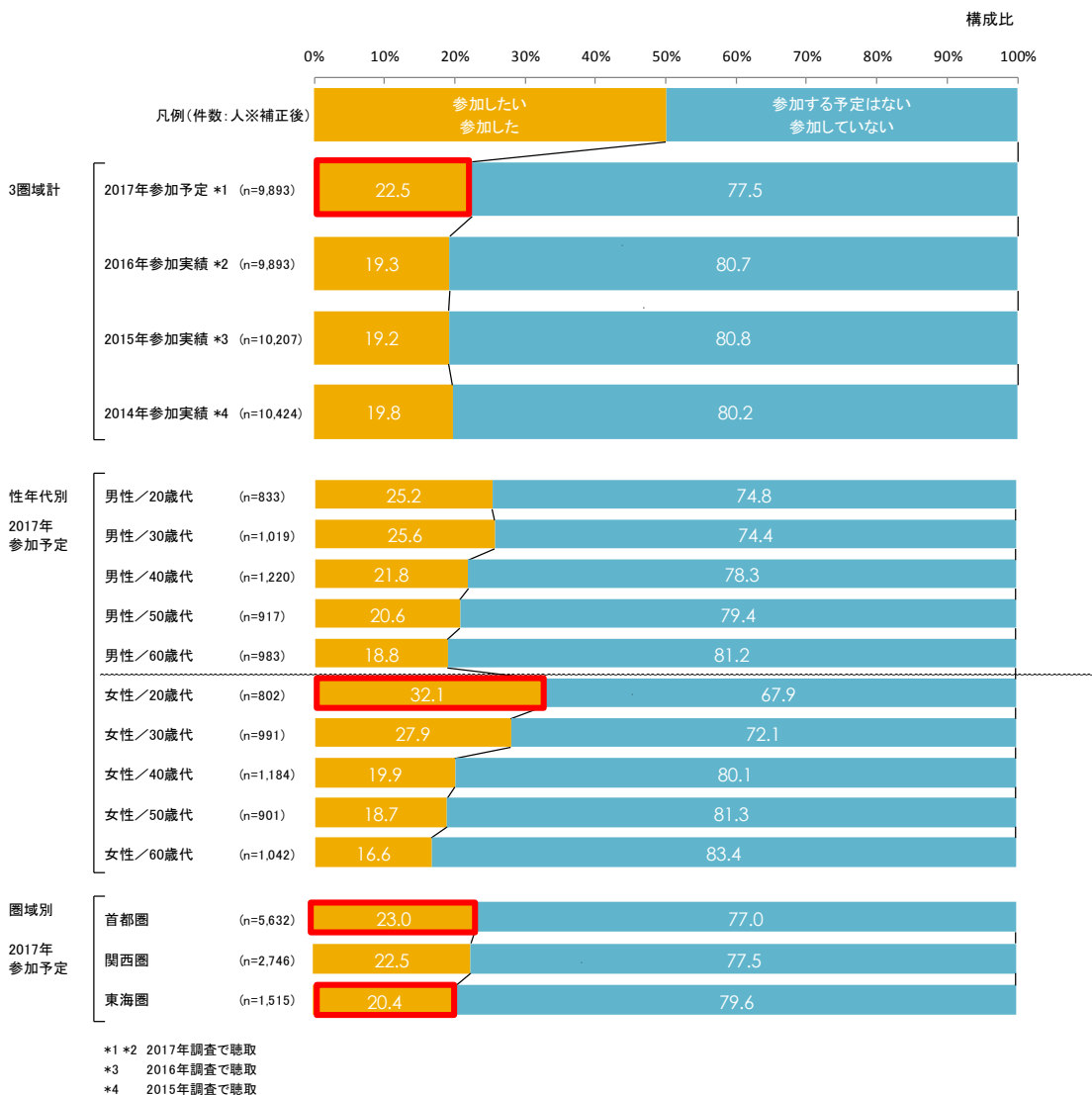
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 2017年「ハロウィーン」行事参加予定者は22.5%、前年参加実績を上回る。20代女性は30%超え。首都圏で参加予定多く、東海圏はやや少な目

毎年、仮装やコスプレ習慣を伴って盛り上がっている「ハロウィーン」。2017年の参加予定については3圏域計で22.5%と前年の参加実績19.3%を上回った。特に、20代女性が32.1%で参加予定者が、性年代別で最も多い結果となった。圏域別では、首都圏で23.0%と他の圏域よりもやや参加予定者の割合が高めで、逆に東海圏では20.4%とやや低めであった。

■ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントについて、今年の参加予定（全体／単一回答）



※「参加したい」:『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけようと思っているもの」「企画はしないが参加したいもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人を集計

※「参加した」:『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしたもの」「企画はしていないが参加したもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人を集計

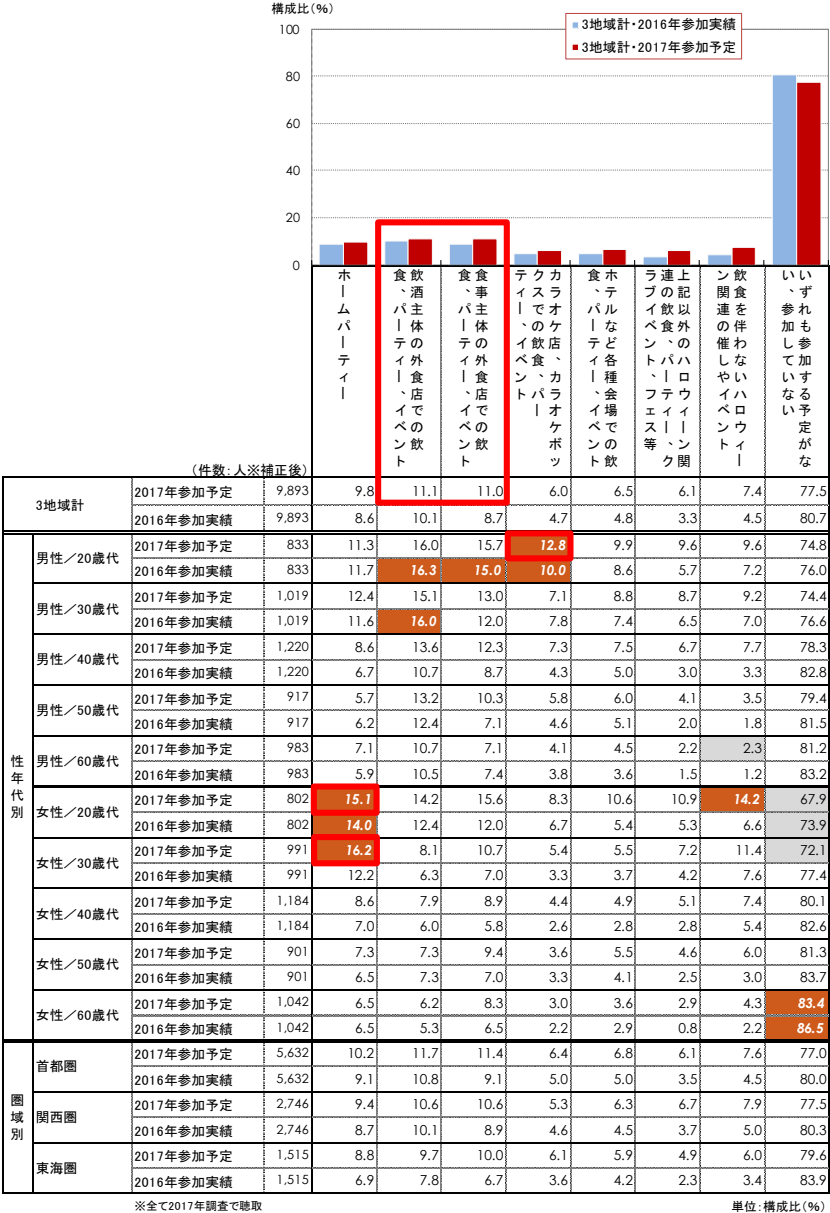
※「参加する予定はない」:『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけようと思っているもの」「企画はしないが参加したいもの」ともに「参加する予定はない」と回答した人を集計

※「参加していない」:『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしたもの」「企画はしていないが参加したもの」ともに「参加していない」と回答した人を集計

2. 参加予定の行事、最多は「飲酒主体の店での飲食、パーティー、イベント」（11.1%）

どのような内容の「ハロウィーン」行事へ参加予定があるかという設問に対しては、「飲酒主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」が最多の11.1%、2位に「食事主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」が11.0%とほぼ同程度の回答を集めた。3位に「ホームパーティー」が9.8%の参加予定だった。これは、昨年の参加実績の順位とも同じ結果となっている。性年代別には、20・30代女性で「ホームパーティー」への参加予定が多く、20代男性では「カラオケ店、カラオケボックスでの飲食、パーティー、イベント」への参加予定が多く、男女間での差も見られた。

■ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントについて、前年の参加実績と今年の参加予定<パーティ・イベントの詳細>（全体／複数回答）



※全て2017年調査で聴取

単位:構成比(%)

太字 3地域計より5ポイント以上高い項目
3地域計より5ポイント以上低い項目

※2016年参加実績:『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしたもの」「企画はしていないが参加したもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人を集計

※2017年参加予定:『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加したいもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人を集計

3. 「ハロウィーン」行事に、仮装して参加したい人は42.0%と昨年実績以上。行事参加予定では20代女性が最多だが（P3）、仮装参加予定は30代女性が最多

「ハロウィーン」行事における仮装の状況については、全体で22.5%だった参加予定者（P3）のうち、仮装で参加したい人は42.0%であった（前年実績34.4%）。性年代別で見ると、30代女性では57.1%が、20・30代男性も過半数が仮装で参加したいとしており、P3で参加予定最多の20代女性（47.7%）より割合が高い。

■ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントに、仮装して参加する割合

（ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントに、参加したい人・参加した人／単一回答）



*1 *2 2017年調査で聴取

*3 2016年調査で聴取

*4 2015年調査で聴取

※「仮装して参加したい」：『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントのうち、仮装して参加したいもの』で、いずれかのパーティー、イベントに「仮装して参加したい」と回答した人を集計

※「仮装して参加した」：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントのうち、仮装して参加したもの』で、いずれかのパーティー、イベントに「仮装して参加した」と回答した人を集計

※「仮装はせずに参加したい」：『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加したいもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人から、「仮装して参加したい」と回答した人を除いて集計

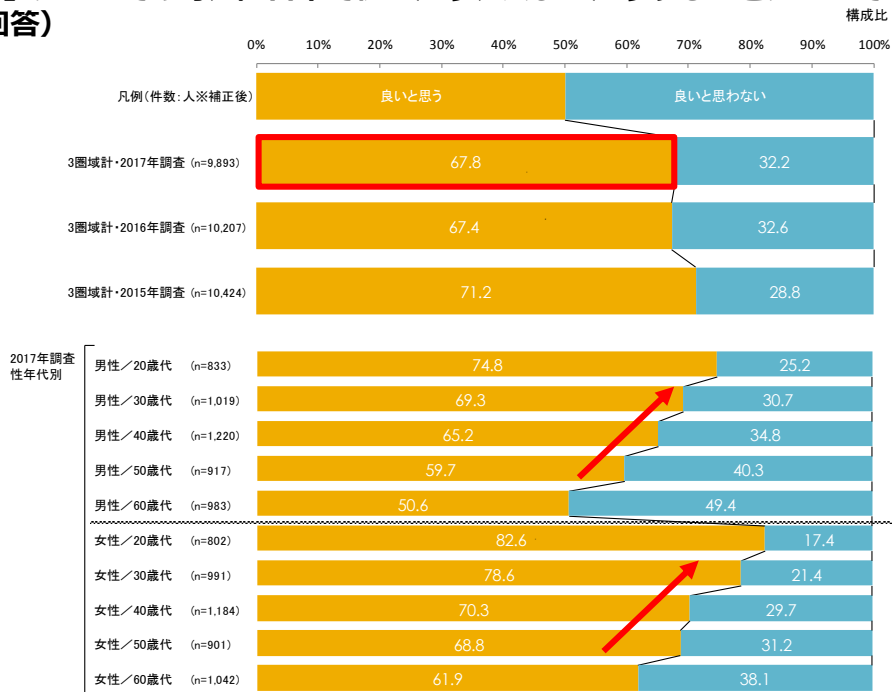
※「仮装はしていないが参加した」：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけたもの」「企画はしていないが参加したもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人から、「仮装して参加した」と回答した人を除いて集計

※自分自身は仮装しなくても、子供が仮装して参加したい場合は「仮装して参加したい」に含む

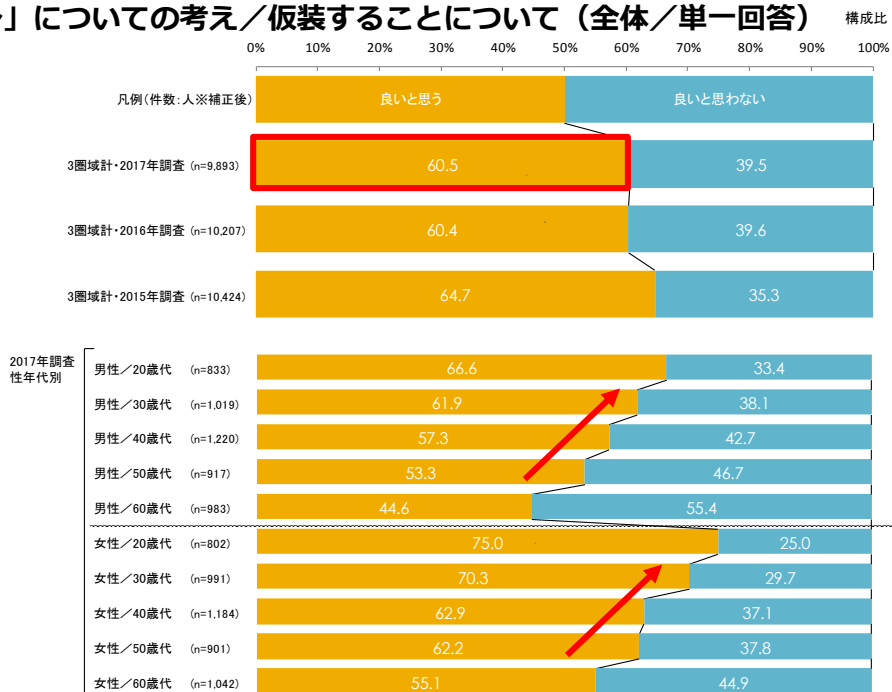
4. 「ハロウィーン」肯定派が前年比で微増、若年層ほど肯定派が多い傾向

日本での「ハロウィーン」の普及と仮装の是非について良い/良くないの2択で質問した。普及については67.8%、仮装については60.5%が「良いと思う」と回答。肯定派が否定派を上回ったが、前年に比べても肯定派がやや増加している。年代別には、若い年代ほど肯定派が多く、男女では女性のほうがやや肯定派が多い。

■ 「ハロウィーン」についての考え/日本で祝ったり、広まったりすることについて (全体/単一回答)



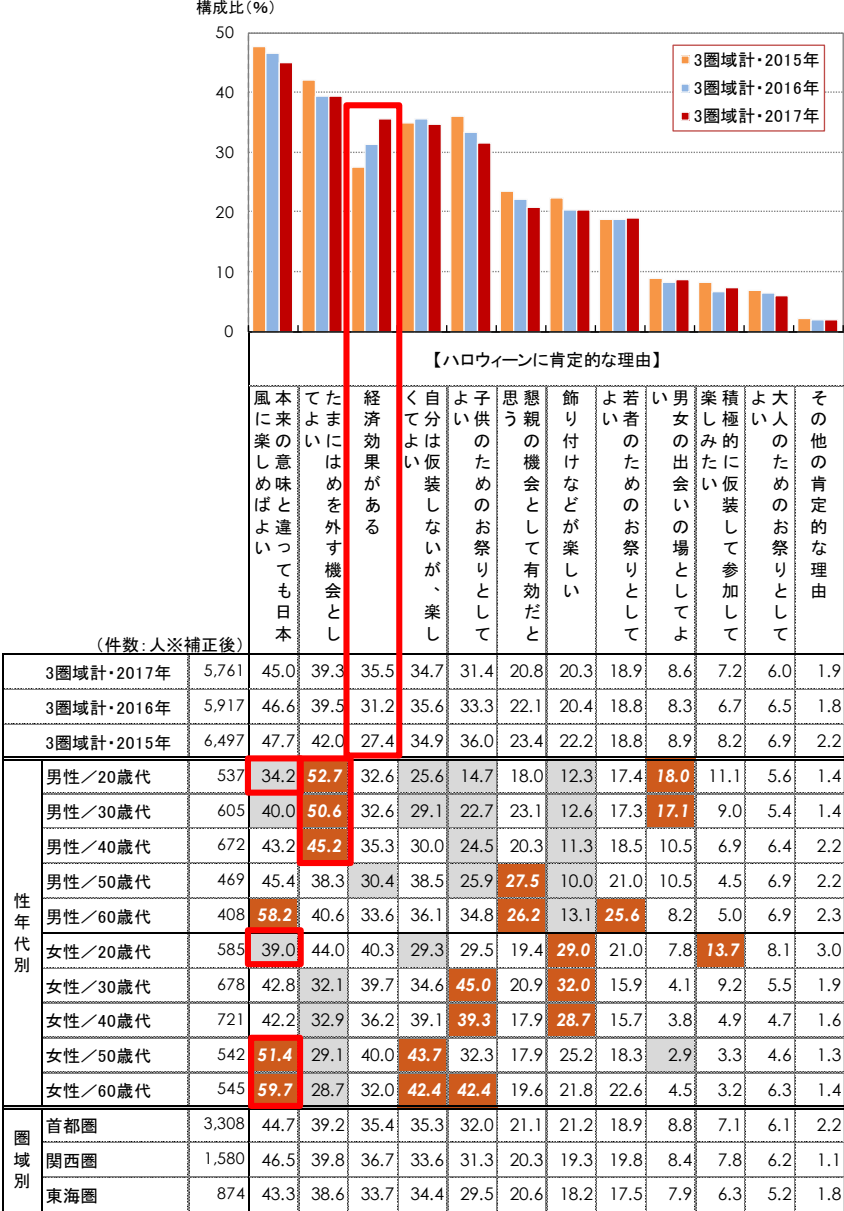
■ 「ハロウィーン」についての考え/仮装することについて (全体/単一回答)



5. 「経済効果がある」が前年比で4.3ポイントアップ

「ハロウィーン」肯定の理由は、「本来の意味と違って日本風に楽しめばよい」が45.0%で最多、2番目に「たまにはめを外す機会としてよい」が39.3%、3位に「経済効果がある」35.5%であった。「経済効果がある」は年々スコアを伸ばしており、昨年5位から今年は順位を2つ上げた。20代男女では「日本風に楽しめばよい」が他の性年代に比べてスコアが低く、「日本風」にやや否定的。逆に50・60代女性はスコアが高めで「日本風」に寛容だ。また、20～40代男性では「たまにはめを外す機会としてよい」が高めで、非日常を楽しむ機会として肯定的な様子だ。

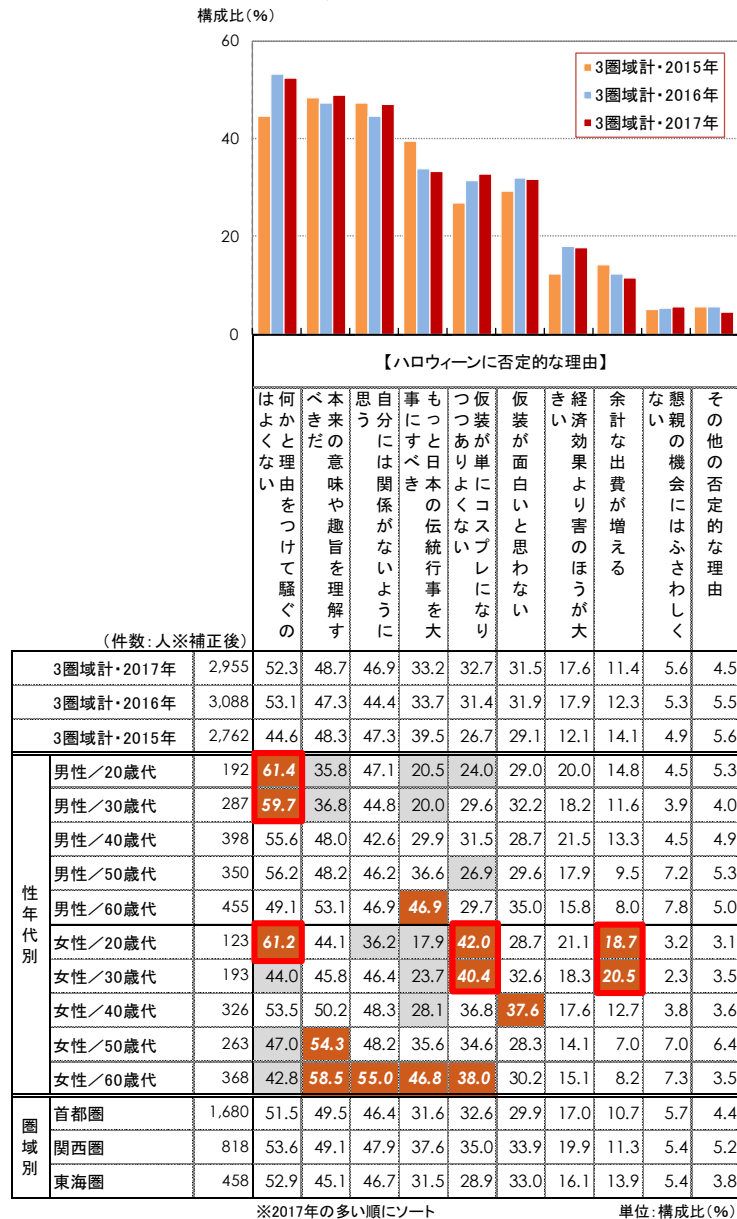
■ 「ハロウィーンについての考え」の理由<日本で祝ったり、広まったりすることについて「良いと思う」かつ、仮装することについて「良いと思う」と回答した人>（複数回答）



6. 否定派の理由トップは「理由をつけて騒ぐのはよくない」。若者は肯定派と二極化

「ハロウィーン」を否定する理由は、「何かと理由をつけて騒ぐのはよくない」が52.3%で1位、2位に「本来の意味や趣旨を理解すべきだ」が48.7%、3位に「自分には関係がないように思う」46.9%がトップ3で昨年と同様だった。20・30代男性と20代女性では「何かと理由をつけて騒ぐのはよくない」が特に多く、若年層は参加意向が高い一方で「何かと理由をつけて騒ぐ」ことへの否定派も多いという実態が明らかになった。20・30代女性では他に、「仮装が単なるコスプレ」「余計な出費が増える」ことへの否定派も目立った。

■「ハロウィーンについての考え」の理由<日本で祝ったり、広まったりすることについて「良くないと思う」かつ、仮装することについて「良くないと思う」と回答した人>（複数回答）



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目